

前橋市動物の愛護及び管理に関する名例がみてされます。

条例が改正されます

(令和7年4月1日から)



<u>飼い主等の4つの遵守事</u>項が新たに加わります

● 適正な頭数の飼養・保管

飼養事情や環境で、適正に飼える動物の数は異なります。

多頭飼育問題とならないために、動物の数は、適正に飼育管理ができる範囲を超えないように努めましょう。

- ※多頭飼育問題とは、動物の適正な飼育管理ができずに、
 - ①飼い主の生活状況の悪化 ②動物の状態の悪化 ③周辺の生活環境の悪化 が生じている状況です。



● 飼い犬のしつけ等

犬の飼い主は、飼い犬が地域社会と調和して生活するために、飼い犬のことをよく 理解し、その飼い犬に適した運動やしつけを行いましょう。

また、飼い犬が他の犬に興奮してしまい、それを止めようとする際に、こう傷事故 (犬が人間にかみついて怪我をさせてしまうこと) が発生しています。

こう傷事故を未然に防ぐためには、飼い主の制止に従うようにトレーニングをしま しょう。



● 飼い猫の屋内飼養

飼い猫を屋外で飼うことは、ふん尿被害などで近隣に迷惑をかけるだけでなく、交通事故、感染症、猫同士のけんかなど、猫にとってたくさんの危険があります。 市内では、交通事故などにより毎年 1,000 匹以上の猫が屋外で亡くなっています。 飼い猫の健康と安全のため、また、周辺の生活環境の保持とみだりな繁殖を防ぐた



● 飼い主のいない猫に餌やりをする人の遵守事項

飼い主のいない猫に餌やりをする人には責任が伴います。

めにも、飼い猫は屋内で飼いましょう。

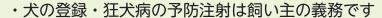
猫は繁殖力が強く、あっという間に増えてしまいます。飼い主のいない猫がみだりに繁殖しないように、不妊去勢手術を実施してください。なお、手術によって発情期の鳴き声、けんか、おしっこのにおいなどの改善も期待できます。

また、猫への餌やりにより周辺の生活環境を損なわないように、餌の管理(決まった場所で与え、置き餌はしないで片付ける)、トイレの設置と清掃などの適切な管理を行い、周辺住民の理解が得られるようにしましょう。



人と動物が幸せに暮らすために

▶犬を飼っている方へ



- ・犬の放し飼いは条例で禁止されています
- ・散歩中のふんは必ず持ち帰り可燃ごみとして処理し、尿は水で流しましょう
- ・鳴き声などで人に迷惑をかけないようにしましょう
- ・鑑札や名札などで身元表示をしましょう









▶猫を飼っている方へ

- 猫は室内で飼いましょう
- 不妊去勢手術をしましょう
- 名札やマイクロチップなどで身元表示をしましょう







▶飼い主のいない猫に餌をあげている方へ

「かわいそうだから・・・」と餌をあげたくなる気持ちはわかりますが、無責任な餌やりを続けると、 結果として不幸な猫を増やすだけでなく、ふん尿被害などで近隣の生活環境が悪化し、猫を迷惑 に思う人も増えてしまいます。

【飼い主のいない猫の管理方法】 ・不妊去勢手術の実施

- ・餌の管理(定時/定点の餌やり、片付け)
- ・トイレの設置、清掃





耳カットは手術済の目印!

耳カットしてある猫は「さくらねこ」と呼ばれています



TNR活動とは、飼い主のいない猫に対し、「Trap/捕獲し、Neuter/不妊去勢手術を行い、Return/元の場所に戻す」 を実施することで繁殖を防止し、一代限りの命を全うさせ、飼い主のいない猫に関する苦情や殺処分の減少に寄 与する活動です。自治会等で、飼い主のいない猫の一斉捕獲・手術を希望する場合には、ご相談ください。

・猫の去勢・不妊手術費の補助事業 飼い主のいない猫の手術も対象となります。詳しくは市ホームページへ。

・猫の捕獲器の貸出し(手術目的の場合に限る)

去勢・不妊手術について ▶



